

プログラム内容詳細

講演会（13:00-16:30）

（1）高等教育政策の最新動向に対応する大学情報の利活用に向けて

講演者：山形大学 学術研究院 教授 浅野 茂 様

昨今、政府の公的支出を根本的に見直し、より効果的で効率的な予算を編成するための手法として、「エビデンスに基づく政策立案（Evidence-Based Policy Making：EBPM）」という考え方が注目されています。高等教育政策を所管する文部科学省においても、令和元年度は6件、令和2年度は4件の調査研究が実施されるほか、同省職員研修なども多数実施されており、今後の政策評価において重要な位置づけがなされると言えそうです。こうした動向を踏まえ、本セッションでは大学における各種情報を利活用する上で重要な各種データベースやIR機能の在り方について話題提供させていただきます。

（2）大学におけるDXを支えるデータ基盤の構築について

講演者：大阪大学 経営企画オフィス 准教授 廣森 聡仁 様

大学においてもデジタルトランスフォーメーション(DX)による変革が求められる一方、既存のITシステムは老朽化や複雑化しており、必ずしもそれらの革新を支えられるものではありません。膠着した業務の流れを見直しつつ、PoC（Proof of Concept）を繰り返し実施できるようにするなど、着実にDXを推進できるよう、多様かつ高度な機能を提供しているクラウド基盤に基づき、大学における様々な活動を蓄積するデータ基盤に関する取組について紹介いたします。

（3）AIを用いた効率的なマッチング支援システムの開発

講演者：九州工業大学 インステイテューショナル・リサーチ室 准教授 山本 鉦 様

企業が製品開発を行う際、実用化までの課題解決に向けた研究を大学の研究者と共同で実施することがあります。この際、企業側で使われている用語と研究者側での用語が異なると、共同研究候補者を効率的に探すことが難しくなります。

九州工業大学では、この問題を解決し、企業ニーズと大学シーズを効率的にマッチングするためのシステム開発に着手しました。このシステムの要はAIです。どのような考え方にに基づき、どこまで開発が進んでいるのか、そして最終的に何を目指しているかについてご紹介いたします。

（4）SRA 東北ソリューション紹介

講演者：株式会社 SRA 東北

弊社製品「DB-Spiral」を中心とした大学様向けソリューションに関する今後の展開や、大学における「AI」や「RPA」、「MR」など、DX化に向けた取込をご紹介させていただきます。

本イベントに関するお問い合わせについて、以下の担当までにお問い合わせください。

担当：相澤、新沼 電話：022-221-9061 メール：uv-ev@sra-tohoku.co.jp